



平成 21 年 12 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 千 趣 会
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 行 待 裕 弘
 (コード番号 8165 東証・大証 第一部)
 問 合 せ 先 専 務 取 締 役 田 辺 道 夫
 (TEL 06-6881-3100)

特別損失の発生、業績予想及び配当予想の修正並びに 平成 22 年度業績予想に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 7 月 30 日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、特別損失の発生が見込まれますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

(1) 投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の計上について

当社が保有する投資有価証券及び関係会社株式について、時価または実質価額が著しく下落し、その回復可能性が低いと思われるものについて、平成 21 年 12 月期の決算において、個別決算では投資有価証券評価損 562 百万円、関係会社株式評価損 580 百万円、連結決算では、投資有価証券評価損 562 百万円を特別損失として計上いたします。

詳細につきましては、本日（平成 21 年 12 月 11 日）発表の「投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 投資有価証券売却損の計上について

当社が保有する投資有価証券について、平成 21 年 12 月期において売却することを決定いたしましたので、その売却損 517 百万円を投資有価証券売却損として計上いたします。

2. 平成 21 年 12 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	152,480	1,100	2,100	1,510	32.33
今 回 修 正 予 想 (B)	146,450	△ 2,930	△ 2,450	△ 4,840	△ 107.12
増 減 額 (B - A)	△ 6,030	△ 4,030	△ 4,550	△ 6,350	—
増 減 率 (%)	△ 4.0	—	—	—	—
前 期 (平 成 20 年 12 月 期) 実 績	158,285	2,413	△ 4,553	△ 6,271	△ 134.26

3. 平成 21 年 12 月期通期業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	141,700	1,200	2,850	1,650	35.32
今回修正予想（B）	136,100	△ 2,710	△ 1,580	△ 4,880	△ 108.00
増減額（B－A）	△ 5,600	△ 3,910	△ 4,430	△ 6,530	—
増減率（％）	△ 4.0	—	—	—	—
前期（平成 20 年 12 月期）実績	150,729	2,353	△ 3,853	△ 6,155	△ 131.77

4. 通期業績予想修正の理由

（連結）

通期連結業績予想につきましては、10 月以降も景気の悪化による個人消費の減速が続き、10 月・11 月共に、前年及び業績予想の売上高を大きく下回る結果となりました。また 12 月度も厳しい状況が続いており、売上高は前回予想より 60 億 3 千万円減の 1,464 億 5 千万円となる見込みです。売上高の減少を補うためのバーゲン販売等の増加や売上高減少に伴う在庫増による評価損額増により、売上原価率が上昇するものと想定しております。以上の状況に対処するため、販売管理費等の経費削減に努めておりますが、売上総利益の減少分を補うまでには至らず、前回発表の 11 億円の営業利益から大幅に乖離した 29 億 3 千万円の営業損失となる見込みです。経常損益におきましては、24 億 5 千万円の経常損失、純損益におきましては、上記に記載しております特別損失の発生と繰延税金資産の取崩し等により 48 億 4 千万円の純損失となる見込みです。

（個別）

個別業績につきましても連結とほぼ同様です。

5. 配当予想について

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
前回予想	—	6.00	12.00
今回予想	—	0.00	6.00
当期実績	6.00	—	—
前期実績 （平成 20 年 12 月期）	8.00	9.00	17.00

6. 配当予想の修正の理由

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、配当性向を考慮し安定的な配当の維持及び適正な利益還元を基本としています。

株主の皆様への利益配分の方針として、連結配当性向 30%を目安として継続的な利益還元に努めることを基本方針としておりますが、本日（平成 21 年 12 月 11 日）発表しましたとおり、純損失を計上する見込みとなったことから、誠に遺憾ではございますが、平成 21 年 12 月期の期末配当につきましては見送らせていただくことといたしました。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、企業価値の向上及び収益体質改善に向け、さらなる経営努力を重ねてまいります。

7. 平成 22 年度通期業績予想（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結業績予想	142,300	2,100	2,050	1,650	36.52
単体業績予想	131,300	2,100	2,200	1,800	39.84

8. 平成 22 年度通期業績予想について

今後も企業間競争の激化やデフレによる低価格化が更に進展し、景気は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。平成 22 年度の通期業績予想につきましては、売上は上記状況を勘案し、単体・連結共に前年より若干低めの予想をしております。連結営業利益につきましては、仕入原価率の改善、在庫圧縮及びネットへの更なるシフトによる媒体費の大幅削減や役員報酬の一部カットを含めた人件費等の管理費の徹底的な削減により 21 億円、連結経常利益は 20 億 5 千万円、当期純利益は 16 億 5 千万円の見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上